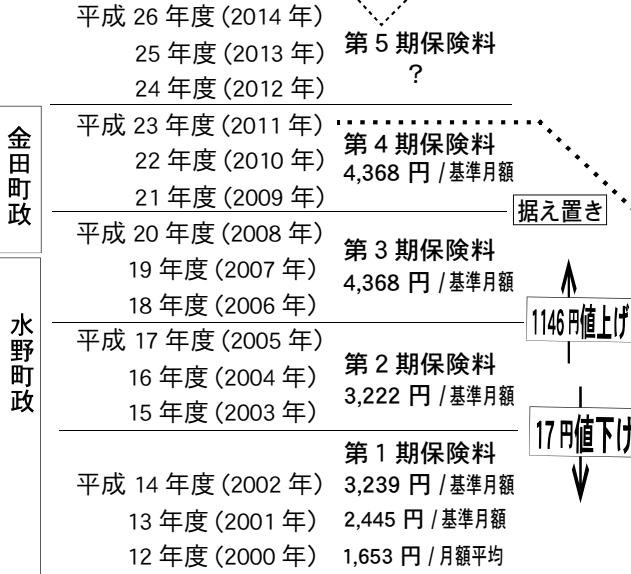


田尻町11年間の介護保険料の推移

厚生労働省「このままでは第5期介護保険料の全国平均基準額は、5,000円を超える見込み」(7月11日の全国会議で)



金田町政

水野町政

会計決算

22年度 3,181万円の黒字
11年間で最大の黒字

介護給付費準備基金

給付が見込みを下回り積みたてられたお金

22年度末 2,728万円
65才以上の高齢者1人当たり 15,714円

最終年度において残高がある場合には、次期保険料を見込むに当たり準備基金を取り崩すことが基本的な考え方となっています。

過去、府下で田尻町だけ保険料を引き下げたことがあります

高齢者負担はもう限界!



大幅黒字になるくらいなら保険料を引き下げて!

9月議会での一般質問から

共産党議員団 吉開議員

「給付費準備基金(22年度末では2,728万円1人当たり15,714円)を全額取り崩し、今期の4,368円より引き下げを」

町当局

「国の示す計算式にもとづいて算出し、いくら取り崩すのか、どうか、いまのところわからないが、それで保険料の引き下げとは考えていない」

3来年度から第5期 介護保険料の引き下げを

昨年度の田尻町一般会計決算は2億1千万円の黒字

2期島含む空港関連税収は増え25億円、町の貯金は34億円に

町民要求実現のための財源はたっぷりあります

共産党議員団の公約

福祉・防災の田尻づくり

- ★介護保険料の引き下げ 国保料の抑制
- ★保育施設の受け入れ拡充 幼稚園3歳児保育の復活
- ★駅上広場を「グラウンド」に復活 J.A泉州前の町有地を「広場」化
- ★防火行政無線の改善・強化 避難所・避難方法の周知徹底
- ★粗大ゴミ定期収集と負担軽減 分別収集をもっとわかりやすく

財源増えるが、子育て施設拡充には使われず

昨年度の町決算は、民主党に政権交代し初めて対応した予算執行となったなか、雇用や子ども手当てなど福祉・暮らしにかかわる地方配分がふえたのが特徴です。

大阪府も補助金を削減し交付金に変え、それなりに市町村の自由枠を増やしましたが、金田町政は保育所の受け入れ拡充や幼稚園の3才児保育の復活を行いませんでした。

吉見ノ里駅前踏切の拡幅整備の調査委託結果がでており、今後の事業展開しだいで数

町長は決算委をふくむすべての委員会審議を病欠、政策審議できず
金田町長は、一般質問が行われた9月5日の本会議に出席した以外は、詳細な審議を行う委員会には、決算委員会も含め、4日間すべて「激しい腰痛のため」欠席しました。
そのため町長判断をとまなう政策審議はいつさに行うことができず町議会として異例、不本意な議案審議となりました。

億円の事業費がかかるため、チェックが必要です。介護保険会計も3千万円もの黒字。党議員団は、保険料のとりすぎ、を指摘して、来年度からの引き下げを求めています。

国保会計は、医療費増ですが950万円の黒字となっています。水道会計は、府営水の値下げなどにより黒字が増え、貯金は9千万円になりましたが、建築後54年をむかえる給水施設の改修改築が課題となっています。

主催：日本共産党町会議員団 小川・吉開

町政報告のつどい

10月20日(木) 昼1時~3時
嘉祥寺集会所

○介護保険料の値上げを食い止め引き下げさせるためには...

その他

10月、11月、町民世論が勝負です
お誘い合わせてご参加ください

よりくわしいことはHPで

小川・吉開 検索 ご注意・ご質問などはHPからお願いします

なんでも相談所 465-9939

なんでも相談は 毎週・月・水・金の 午前10時~正午

毎月第2金曜日 午後6時~8時 無料 弁護士相談

日本共産党田尻町支部と議員団は、議会報告と見解を発表しました。